



# 原子力産業新聞

2014年5月29日  
平成26年(第2720号)  
毎週木曜日発行  
購読料1年前分金(消費税、国内送料込)  
会 員 9,500円(1部220円)  
非会 員 15,000円(1部350円)  
(当会会費は年会費13万円に本紙購読料の9,500円を含む。1口1部)

発行所 日本原子力産業協会

〒105-8605 東京都港区虎ノ門1丁目2番8号 虎ノ門琴平タワー9階 郵便振替 00150-5-5895  
電話 03(6812)7103 FAX03(6812)7110 ホームページ http://www.jaif.or.jp/ メールアドレス shinbun@jaif.or.jp

昭和31年3月12日第三種郵便物認可

## 周辺住民の被ばく線量試算

### 規制委、関係自治体むけ 予防的避難が重要

公表した。半径5km圏外は、事故後一週間の被ばく線量が百ミリシーベルトとした国際原子力機関(IAEA)の避難基準を下回り、屋内退避などの対策でさらに低減できると評価。放射性物質放出の予防的避難が重要としている。試算は、出力80万kW級の軽水炉(PWR)で過酷事故が発生した場合を想定。二日間、木造家屋に退避した場合で二五%を、またコンクリート製建物の場合で五〇%の被ばく線量をそれぞれ低減できると試算。また甲状腺被ばくについては、対策なしには五km圏内でIAEAの安定ヨウ素剤の服用基準に達する恐れがあるが、コンクリート製建物の屋内に退避しヨウ素剤の服用を併用すると、基準を下回るとした。



本模範説明会では、原子力災害対策指針に基づき同庁が定めたマニュアルで、安定ヨウ素剤を事前配布することとされる。説明会には、二市町村から、計百二十名が参加した。

原子力規制庁は、原子力災害発生時に放射性ヨウ素による内部被ばくを抑える安定ヨウ素剤を原子力施設近隣住民に事前配布・説明を行う際の運用シミュレーションが二三日、都内の会議場で行われた(写真)。原子力規制庁主催の

本模範説明会では、原子力災害対策指針に基づき同庁が定めたマニュアルで、安定ヨウ素剤を事前配布することとされる。説明会には、二市町村から、計百二十名が参加した。

原子力安全の専門家対話に合意  
日・バングラ両首脳  
来日したバングラデシュのシェイク・ハシナ首相と安倍首相との首脳会談が二十六日に行われ、経済協力などを協議した。

## 学会、大飯判決に反論

### 人格権おかささない

原子力規制委員会は二十八日、地域防災計画の策定などを進める関係自治体の参考になるモデルケースとして原子力発電所で過酷事故が発生した場合、周辺住民の被ばく線量などの程度になるか目安を示す試算結果を

政府は二十七日、九月で任期満了となる原子力規制委員会の島崎邦彦委員長と大島賢三委員の後任候補として、田中知氏と石渡氏を国会に提示した。委員の交替は同委員足後初めてで、国会の同意を要する。菅義偉官房長官は同日の記者会見

高浜3、4号機が「審査書案」段階に  
規制委の審査で  
原子力規制委員会は二十一日、現在進められている原子力発電所の新基準適合性審査の状況を整理

再処理の周辺断層をトレンチ調査  
日本原燃  
日本原燃は十九日、六ヶ所再処理施設敷地周辺の

日本原子力学会は二十七日、福井地方裁判所による関西電力大飯3、4号機の運転差止め判決に関し、原子力技術の専門家集団の立場から見解を公表した。今回判決に関し、福島第一原子力発電所事故で、「事故原因が究明されていない」との指摘については、同学会事故調査委員会が三月に取

りまとめた最終報告書で、「直接原因のみならず根本原因まで明らかにしている」と反論している。また、ゼロリスクを求める考え方については、科学技術の進歩がリスクと、その恩恵とのバランスで社会はリスクを容許していると述べ、「事故の再発防止は可能である」ことから、「原子力

規制委、凍土壁本格着工を容認  
地盤影響等を検討  
原子力規制委員会の福島第一発電所に関する評価検討会は二十六日、汚染水の増加を抑制するために計画している凍土方式遮水壁で、東京電力に示した質問事項について同社より説明を受けた。

この一週間の出来事  
(22日(木)～28日(水))  
・タイで政変、国家全権が軍司令官下に(22日)  
・吉田元福島第一所長の上申書が公開(23日)  
・カタール外相来日、エネ協力など確認(27日)

原産新聞の紙面から  
◇国内ニュース  
・全原協総会開催、国への要請を決議(2面)  
・電事連会長、小売全面自由化で課題示す(2面)  
・「私のメッセージ」に見る有識者見解(2面)  
・中国電力他、故障予知監視システム開発(4面)

参加登録はこちら  
[www.wna-symposium.org](http://www.wna-symposium.org)

世界の原子力産業が一つに  
**2014年9月10日～12日**  
英ロンドン、メソジスト・セントラル・ホール

参加登録費  
早期割引×切  
2014年6月30日

特徴

- 世界30カ国を超える国々からの参加者
- 業界を取り巻く問題についてのプレゼンテーション (燃料サイクルフロントエンド、規制・賠償制度、原子力PA、廃棄物と廃止措置、経済性とエネルギー政策 等)
- 各CEOによる業界の将来見通しなどについてのディスカッション
- QAセッションに備え、事前に質問可能な携帯アプリケーション

発表者(確定)

ダニー・ロデリック  
ウェスティングハウス社長兼CEO

ヘルムート・エンゲルブレックト  
ユレンコCEO

リュック・ウルセル  
アレバ社長兼CEO

モハメド・アル・ハマディ  
エミレーツニュークリアエナジーCEO

協賛

主催

Tel: +44 20 7451 1520 | [info@world-nuclear.org](mailto:info@world-nuclear.org) | [www.world-nuclear.org](http://www.world-nuclear.org)